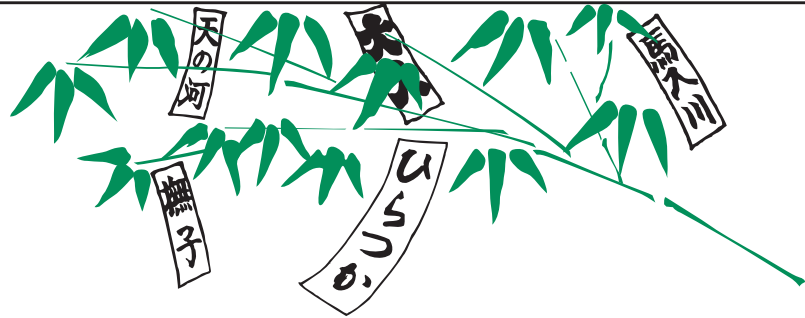




2012～2013年度 国際ロータリーテーマ  
Peace through Service  
「奉仕を通じて平和を」



# HIRATSUKA R.C. WEEKLY

- 会長 小飯塚立雄 ● 副会長 鳥海衡一 ● 幹事 清水雅広 ● 会報委員長 関口幸恵 (2012～2013年度) E-mail: hiraturc@ma.scn-net.ne.jp
- 例会日 毎週木曜日 12:30～13:30 ● 会場 グランドホテル神奈中 平塚2F ● 事務局 平塚市松風町2-10 平塚商工会議所内
- 四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

第2881回 2013年2月21日 グランドホテル神奈中 週報第2881

## 本日の卓話者ご紹介

東海大学 工学部土木工学科  
教授 山本吉道様



## 卓話

### 「巨大地震津波への備え」

東海大学 工学部土木工学科 教授  
土木学会 特別上級技術者 (防災)

山本吉道

地震の発生パターンは、若干の例外を除いて、プレート境界型とプレート内型の二つに大きく分けられます。前者はマントル対流によって沈み込んでいた地殻プレート端部が、地盤歪み量が歪み限界を超えた時に元へ戻ろうとして起きると言われており、地殻プレート端部は海溝として沖合に存在していることから、その地殻変動は地震だけでなく津波をも発生させる場合が多いです。後者は地殻プレート内で地盤歪み量が破壊限界を超えて断層が生じる時に発生し、その発生位置は内陸部である場合が多いため、巨大津波になる可能性は低いです。

地震とそれに対する対策法については、すべての都道府県のホームページ上で解説されており、詳細に解説された書物も沢山出回っていること、東海・東南海・南海地方での大連動型地震による巨大津波の来襲への対応が差し迫った問題になっていることから、本講演では、巨

大地震による大津波への備えについて述べることにします。

- 1) 最初に津波の発生、伝播 (“重力加速度×水深”の平方根で求まる速さで伝播し、浅くなったり、狭くなると、津波は高くなる)、および遡上 (谷合などの斜面では海岸線での津波高さの二倍ぐらいまで遡上する) について。
- 2) 次に、2004年インド洋大津波 (スマトラ地震) と 2011年東日本大津波 (東北地方太平洋沖地震) による津波被害について概説し、それらの被害データを検証に用いて構築された被害予想法 (浸水深が1.5mを越えると木造建築物が壊れ出し、4mを越えると鉄筋・鉄骨コンクリート構造物の壁も壊れ始める) を紹介します。
- 3) 最後に、官・学・民が減災のために行うべき事項と、各人が個人レベルで行える生き残り方法 (浸水予想域の人は、津波警報が出たら、遠くにでなく、近くの高層ビルディングや高台へ直ぐに逃げる。河川は津波の通り道ですから、内陸部でも、堤防が低い地域に住んでいる人は用心するなど) について述べます。

## 卓話者プロフィール

やまもと よし みち  
山本吉道様

### ■ 略 歴

- 1981年3月 埼玉大学大学院工学研究科修了
- 1981年4月 (株)アイ・エヌ・エー新土木研究所入社
- 1994年3月 埼玉大学大学院理工学研究科社会人コース年修了  
博士 (海岸工学) 取得
- 2000年3月 技術士 (建設) 取得
- 2003年3月 (株)アイ・エヌ・エー退社
- 2003年4月 東海大学工学部教授就任
- 2005年4月 東海大学大学院総合理工学研究科教授兼任  
特別上級土木技術者 (防災) 認定  
現在に至る。

## <出席報告>

本日 2月21日	会員数 62名	対象者 56名	出席者 44(41)名	出席率 77.19%			
前々回 2月7日	会員数 62名	対象者 56名	出席者 45(40)名	出席率 73.77%	MUP 6名	計 51名	修正率 83.61%

## ■ 研究分野

- 防災・減災の研究（地震・津波対策、高潮・高波対策）。
- 海岸環境保全（海岸浸食対策、漂着ごみの処理など）。

## ■ 主な著書・論文

### 著書

- 全世界の河川事典（2012、丸善、分担執筆）。
- Coastal Engineering Manual（USA 海岸施設設計マニュアルの翻訳、2008、(株)アクアテック、分担執筆）。
- Design Manual for Coastal Facilities（2004、丸善、分担執筆）。
- 海岸施設設計便覧（2000、丸善、分担執筆）。  
など、計6冊。

### 論文

- 東北地方太平洋沖地震津波による浸水域被害と構造物被害予測法（土木学会論文集 B2、Vol.68-2、2012）。
- 高波による海岸堤防前面下端からの裏込め材吸出し量算定式の提案（土木学会論文集 B2、Vol.68-2、2012）。
- 海岸堤防・護岸の高波による被害予測の研究（土木学会論文集 B3、Vol.68-2、2012）。
- 津波による護岸前面洗掘と海底地形変化予測モデルの改良（土木学会論文集 A1、Vol.68-4、2012）。
- 津波による陸側構造物被害の合理的評価法の提案（土木学会論文集 B2、Vol.67-1、2011）。
- 海岸堤防・護岸の被災限界の研究（土木学会論文集 B3、Vol.67-1、2011）。  
など、60 篇余り。

## ■ 社会活動

- 土木学会（フェロー会員）で各種小委員会委員。
- International Society of Offshore and Polar Engineers で CEC および TPC メンバー。
- 地方公共団体（静岡県、横浜市など）の各種委員会委員。
- 防災シンポジウムの開催や発表など。

## <幹事報告>

### ◎ 訃報

平塚西 R C 会員 伊藤信博様が 2 月 19 日（火）逝去されました。（享年 74 歳）

通夜 2/21（木）18:00～

告別式 2/22（金）12:00～13:00

場 所 カルチャー B O N D S 平塚

\* 2010 年まで当クラブ事務局を置かせていただき大変お世話になりました。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

### ◎ 神奈川フィルハーモニー管弦楽団ブルーダル基金コンサートご協力をお願い

音楽会 日 時：4/15（月）19:00～

会 場：かながわ県民ホール 全席指定

『手をつなごう、ロータリアン・ファミリー』のパンフレットをご覧ください。

\* 本日募金箱をまわし、会員より 50,000 円の寄付が

集まりました。チケット代金と一緒に送金します。

### ◎ 次年度クラブ指導者に向けた公共イメージセミナー開催のご案内

日 時：2/28（木）受 付 14:00～

セミナー 14:30～17:00

懇親会：17:00～18:00 会費 ¥1,500（1 名）

場 所：藤沢産業センター 8F 『情報ラウンジ』

\* 國岡久資次年度広報委員長が出席します。

### ◎ G S E 来訪に伴う分担金のお願

今年度は第 7720 地区（ノースカロライナ州）のチームが、3/26（火）～29（金）にかけて当地区来訪されます。

分担金：1,500 円（会員 1 人当たり） 2 / 1 現在の会員数で納めます。

### ◎ 2013 年 地区協議会開催のご案内

ホストクラブは相模原南ロータリークラブです。次年度の各部門担当の方にはご出席下さいます様お願い申し上げます。

開催日時：4/21（日）登録 12:00～

点鐘 13:00

場 所：麻布大学（相模原中央区淵野辺）

## <メイクアップ> 6 名

成瀬正夫・桐本美智子・滝口勝弘・水越久晴

高橋建二・西村裕子 会員

## <ゲ ス ト> 3 名

山本吉道先生（卓話者）

芦川 浩 第 8 グループ A . G .

（平塚湘南 R C）

I M 開催について成功のご報告と

お礼のご挨拶をいただきました。

三富正規 ガバナー補佐幹事

（平塚湘南 R C）

## <ビ ジ タ ー> 1 名

高橋烈雄様（平塚湘南 R C）

## <本日のスマイル> 22 名

## <卓話・行事予定>

3 月 2 1 日（木）プログラム委員会

2 8 日（木）プログラム委員会

4 月 4 日（木）プログラム委員会

1 1 日（木）企業訪問→通常例会

1 8 日（木）企業訪問

## <市内例会変更>

平塚北	3/19（火）	移動夜間例会
平塚西	3/13（水）→16（土）	職場訪問
	3/20（水）	休会（祝日）